



MS342-12004 ルーフスポイラー

取付・取扱要領書

この度はTRDルーフスポイラーをお買い上げいただきありがとうございます。
本書には本商品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け・取扱いを実施してください。
なお、本書の取扱い上のご注意(ご使用になるお客様へ)は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に行ってください。

品番・適合車種

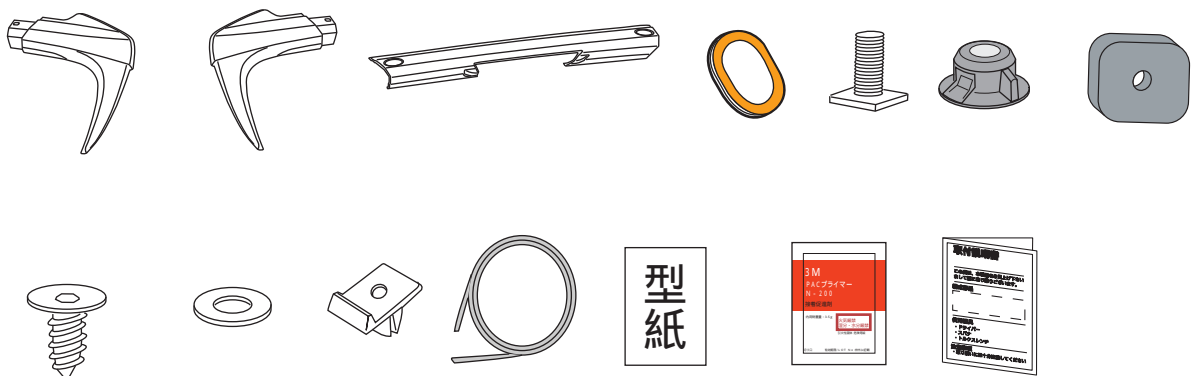
品番	塗装色	備考
MS342-12004	ダークガンメタリック	カローラスポーツ、18.06～

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

構成部品一覧表

品名	品番	個数	備考
ルーフスポイラー サイドRH		1	
ルーフスポイラー サイドLH		1	
ルーフスポイラー センター		1	
キャップ		2	
スクエアヘッドボルト		2	
クリップナット		2	
クッション		2	
タッピングスクリュー		2	
ワッシャー		2	
グロメット		2	
黒フィルム		1	L=500
型紙		1	A3
PACプライマー		1	N-200
取付・取扱要領書		1	本書

構成部品図



取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行っていただくこと



警告

⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。



注意

❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または、「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行なってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。

❗ 両面テープの圧着は49N(5Kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。

⊘ 本商品の取付け24時間は、洗車や水(水拭き含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取付けが終わったら

❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1
2. 取付け・取扱いご注意(作業者様へ) 2
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 3
4. 取付け要項 4 ~ 1 1
5. 取付け完了後の点検、注意事項 1 2

取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具
- ・加工用工具(ハサミ・カッター等)・ヤスリ・保護メガネ
- ・電動ドリル(刃：3.0mm/7.0mm/10.0mm)
- ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(I P A)・清潔なウエス

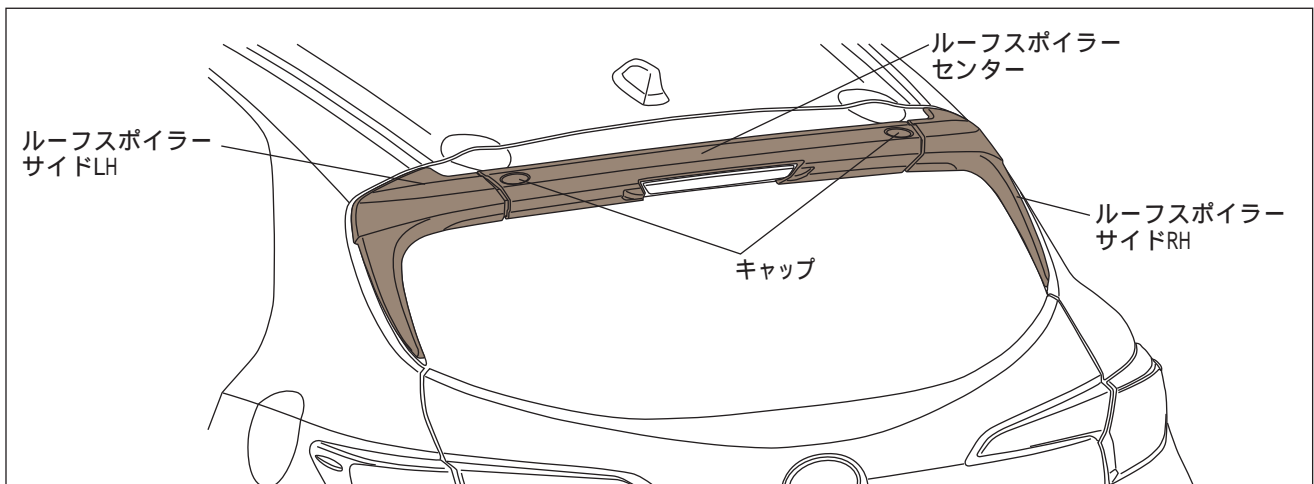
本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

(1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで)

保証の詳細はTRDパーツカタログサイト <<http://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

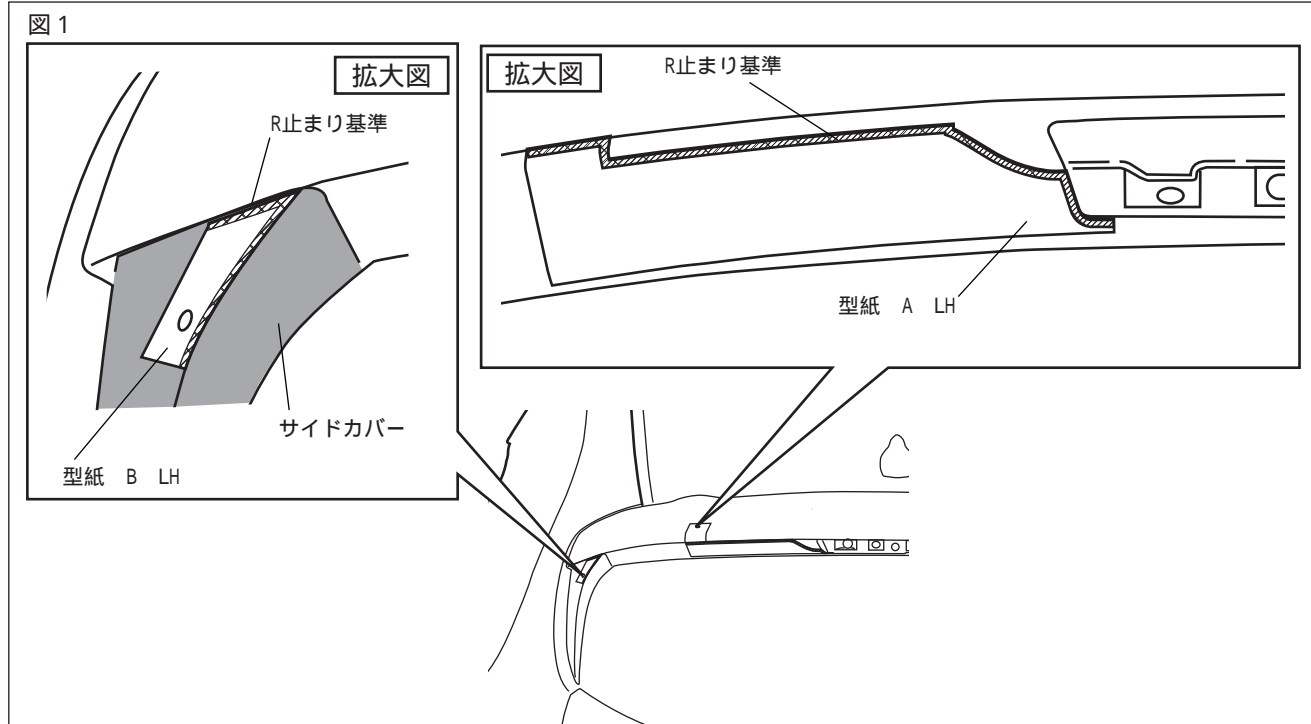
取付構成図



本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

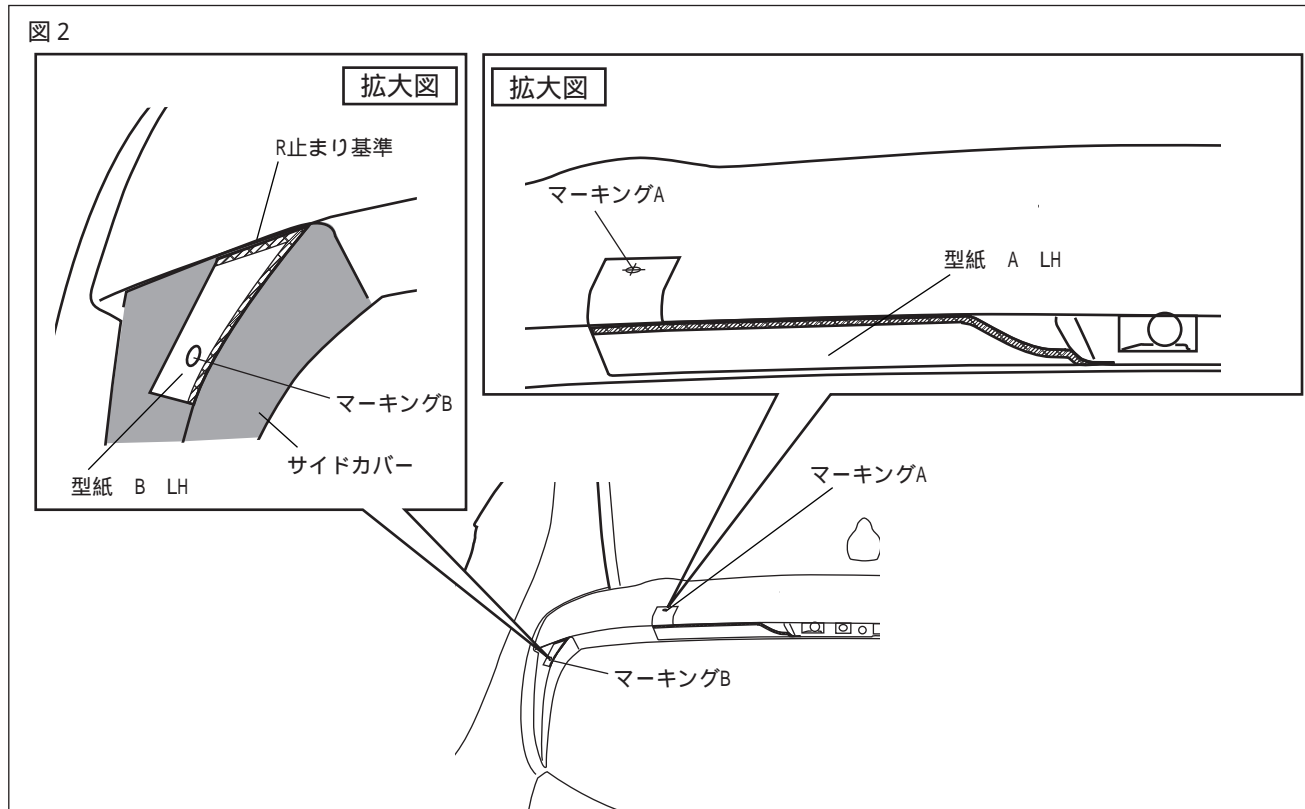
ルーフスポイラーの取付準備

図 1



1. 図 1 のように型紙 を貼付ける。

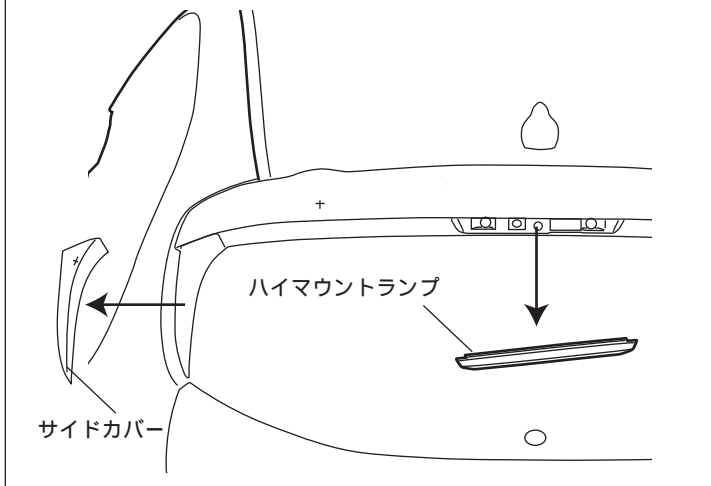
図 2



2. 型紙貼付け後にルーフスポイラーセンター をマーキング位置に仮合わせしてハイマウントランプとの隙が均一になっていることを確認してからマーキングする。

△注意 : ハイマウントランプとルーフスポイラーセンターとの隙が均一でない場合は均一になる様に調整してください。

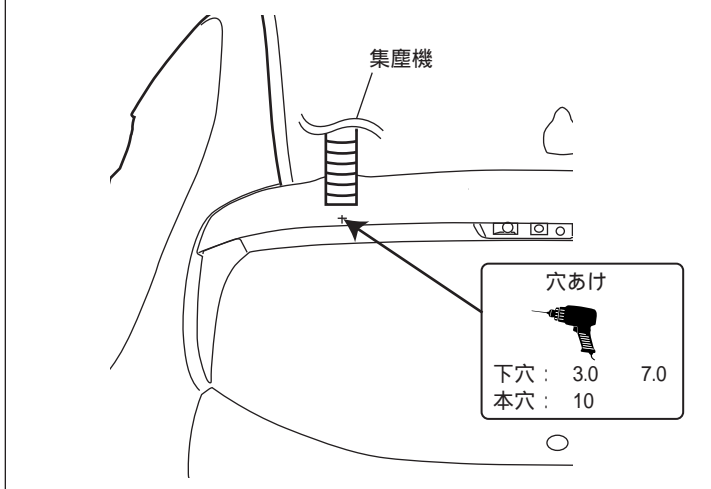
図3 LH図示 左右共通作業



3. 図3のように車両修理書に従いサイドカバーとハイマウントランプを取外す。

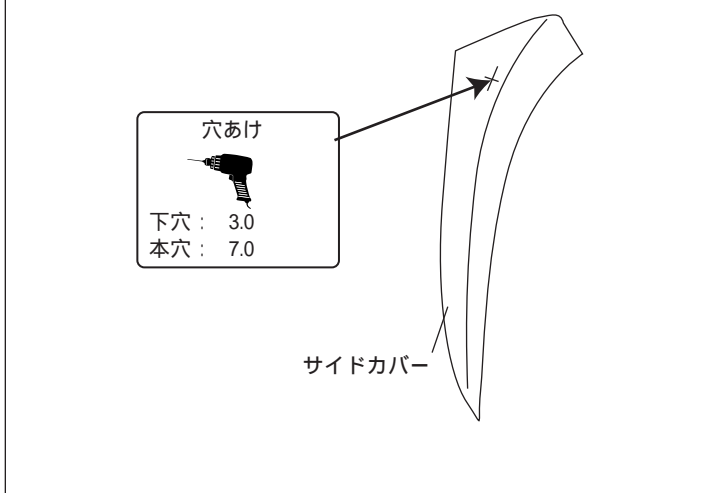
⚠注意：取外したパーツ、ビス類はは再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

図4 LH図示 左右共通作業



4. 図4のように集塵機を当てながら前工程で行ったバックドアのマーキングAに下穴 3.0、7.0、本穴 10の順であけ、穴のバリを取除く。
(左右各1箇所)

図5 LH図示 左右共通作業



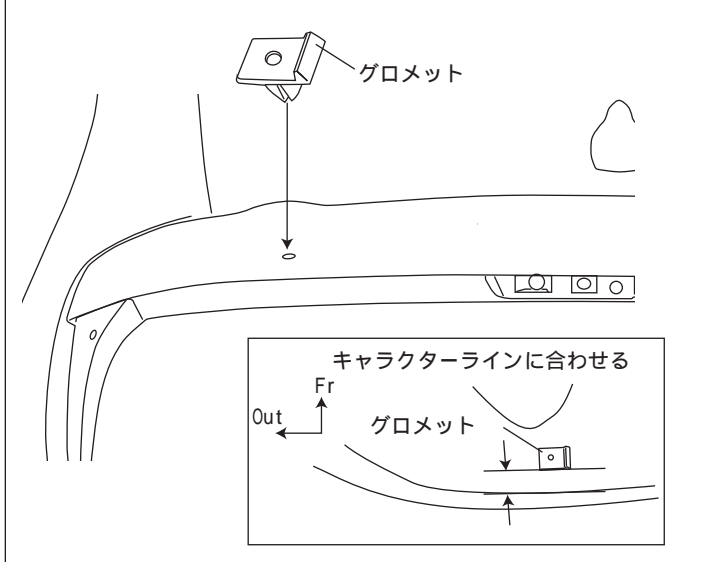
5. 図5のように前工程で行ったサイドカバーのマーキングBに下穴 3.0、本穴 7.0の順であけ、穴のバリを取除く。
(左右各1箇所)

ⓘアドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取除いてください。

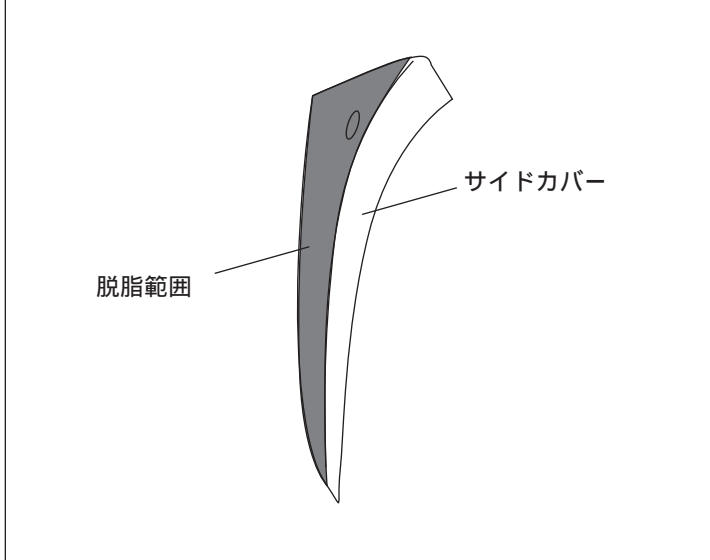
図6 L H図示 左右共通作業



6. 図6のようにバックドアにグロメット を取付ける。
(2箇所)

⚠注意：グロメット の向きが違うと製品とつきません。向きに注意してください。

図7 L H図示 左右共通作業

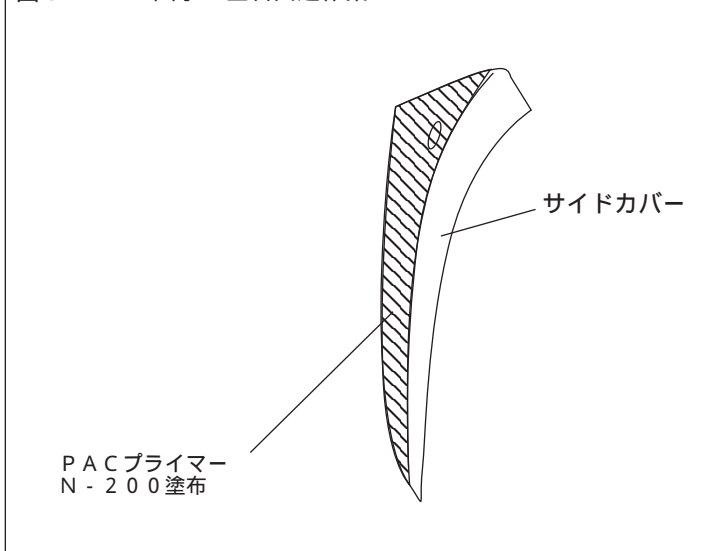


7. 図7のようにサイドカバー貼付け部の汚れを除去、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

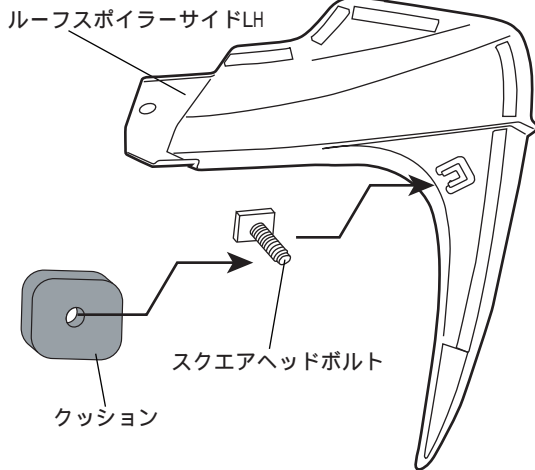
図8 L H図示 左右共通作業



8. 図8のようにサイドカバー貼付け部にPACプライマー-N-200 を塗布する。

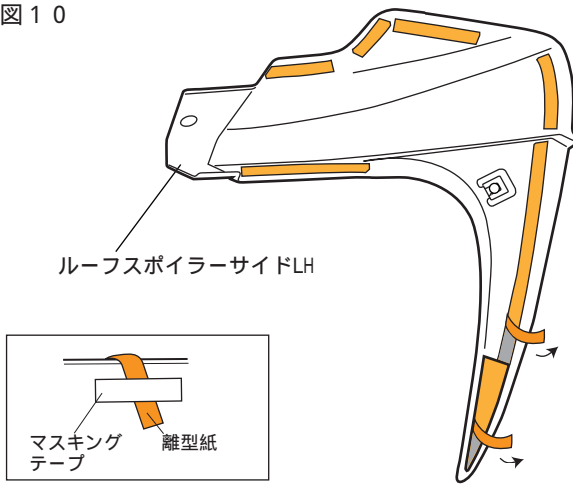
⚠注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにIPA又はホワイトガソリン等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

図 9



9. 図9のようにルーフスポイラーサイドLH にスクエアヘッドボルト を取付け、上からクッション を貼付ける。
(左右各1箇所)

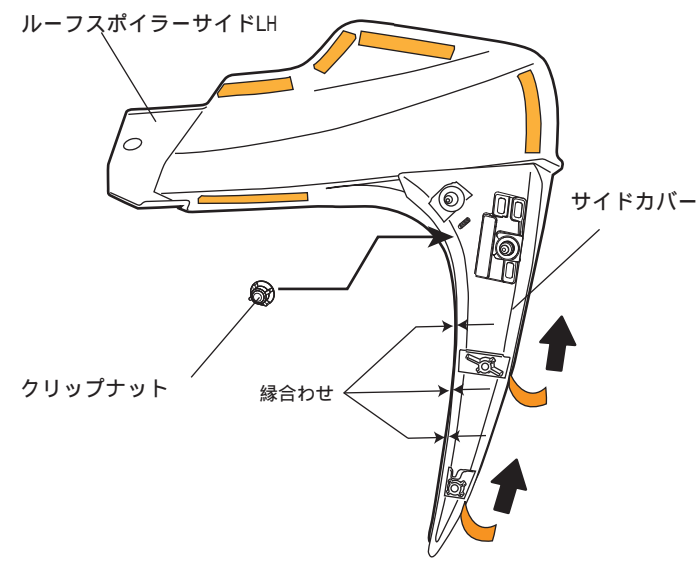
図 10



10. 図10のようにルーフスポイラーサイドLH の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。

△注意：指示部以外の両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

図 11



11. 図11のようにルーフスポイラーサイドLH をサイドカバー内側の縁に合わせてズレ・隙が無いが確認し、両面テープの離型紙を番号順に剥がしながら貼付け圧着する。
{ 49N (5 k g f) 以上 } (左右各2箇所)

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めてください。

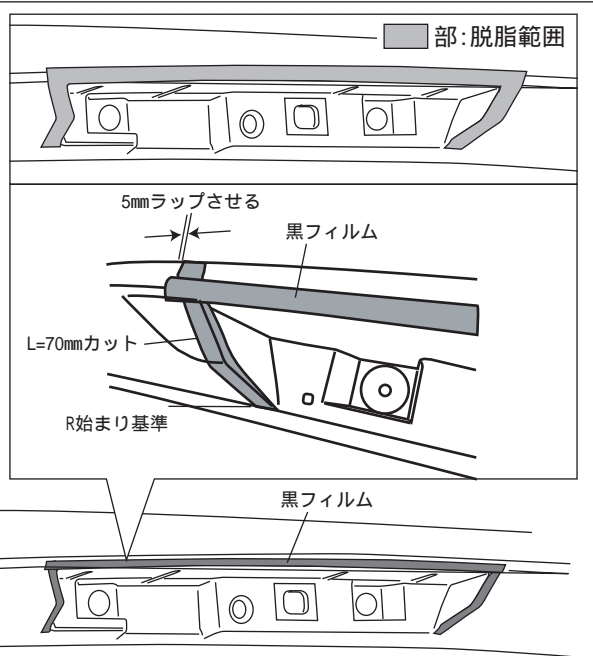
△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

🗑️ アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最短3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、かからないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

△警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの発生する恐れがあります。

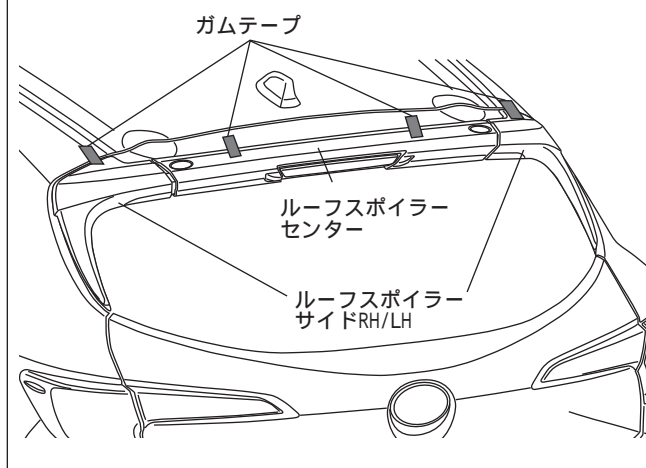
12. 図11のようにスクエアヘッドボルト にクリップナット を取付け本締めをする。
(左右各1箇所)

図 1 2



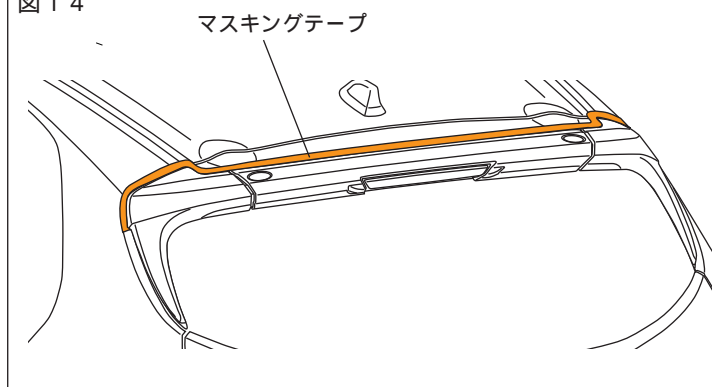
13. 図12のように黒フィルム 貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。
14. 黒フィルム を70mmの長さで計り2本カットする。
15. 図12のようにハイマウントランプ取付部の廻りに黒フィルムを貼付ける。

図 1 3



16. 図13のようにバックドアにルーフスポイラー サイド 、ルーフスポイラーセンター をガムテープ等で仮固定する。

図 1 4

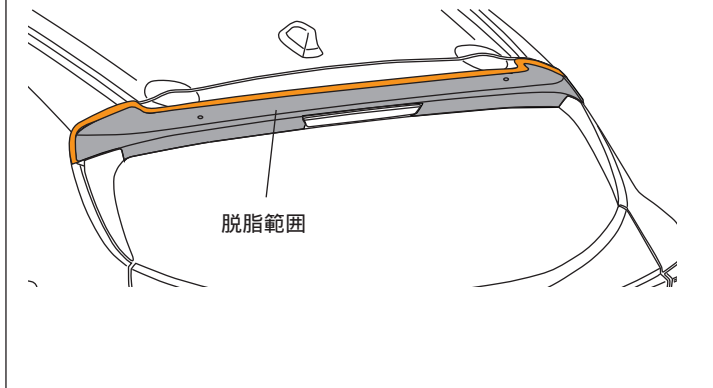


17. 図14のようにルーフスポイラーに合わせて (モール貼付け部はモール上端) マスキングテープを貼付ける。

△注意: 脱脂、PACプライマー塗布範囲のマスキングのため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

18. ルーフスポイラーを取外す。

図15

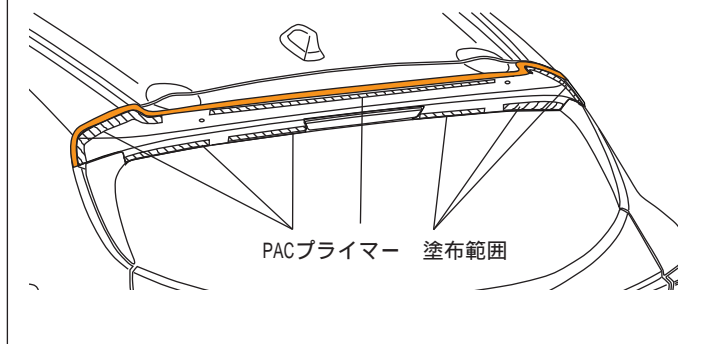


19. 図15のようにルーフスポイラー貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向に拭いて脱脂する。

⚠注意: 脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

🔧アドバイス: 脱脂後は、十分に乾燥させてください。

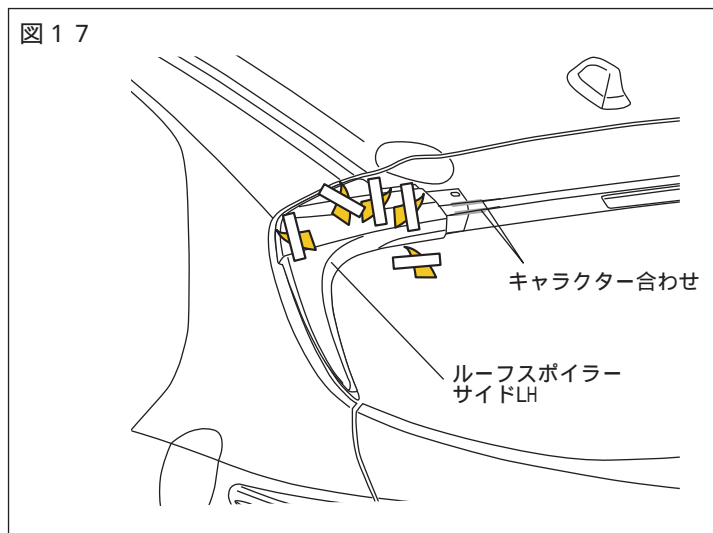
図16



20. 図16のようにルーフスポイラー貼付け部にPACプライマーN-200を塗布する。

⚠注意: プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにIPA又はホワイトガソリン等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

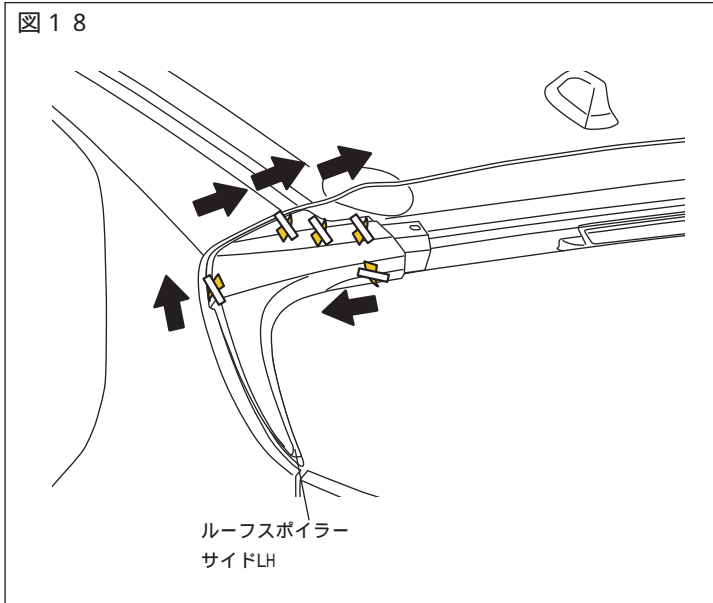
図17



ルーフスポイラーの取付要領

1. 図17のようにルーフスポイラーサイドLHをキャラクターライン合わせで仮合わせする。

図 18



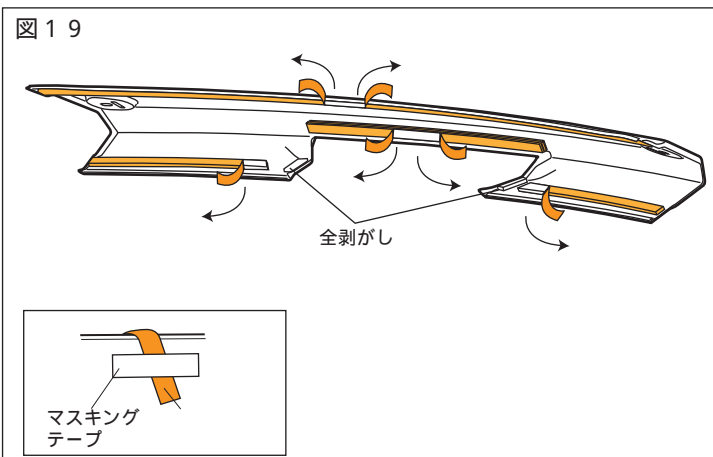
2. 図18のようにルーフスポイラーサイドLH の先端がガラスの縁にくるようにに合わせた後、ズレ・隙が無いを確認し、両面テープの離型紙を番号順に剥がしながら貼付け圧着する。
 { 49 N (5 k g f) 以上 } (左右各 5 箇所)

△注意: 両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めてください。

△注意: 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

👉アドバイス: 両面テープの接着力は安定するまで3 ~ 5 時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が掛からないようにオープンタイム(静止時間)お取りください。

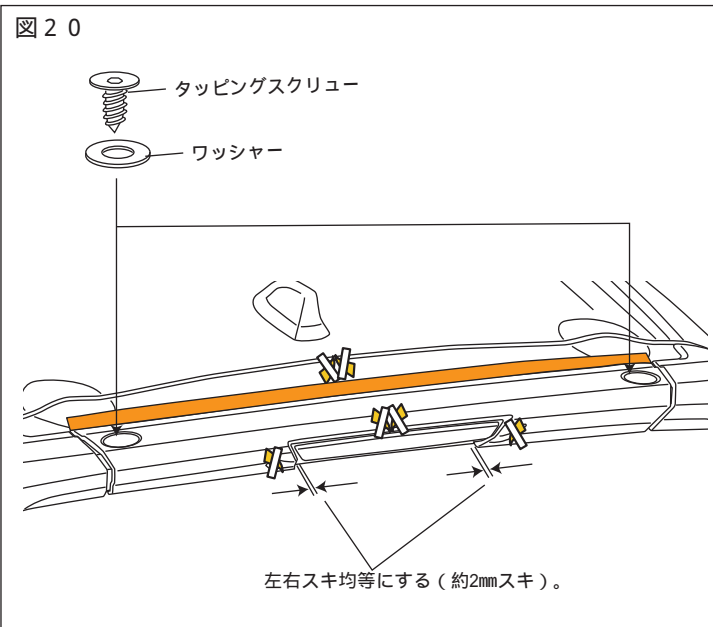
図 19



3. 図19のようにルーフスポイラーセンター の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。

△注意: 指示部以外の両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

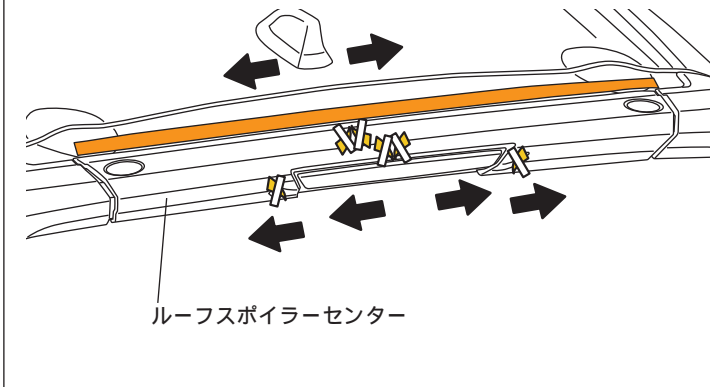
図 20



4. 図20のようにルーフスポイラーセンター をマスキングテープの高さに仮合わせする。

5. 図20のようにルーフスポイラーセンター にワッシャー とタッピングスクリュー を仮止めする。

図 2 1



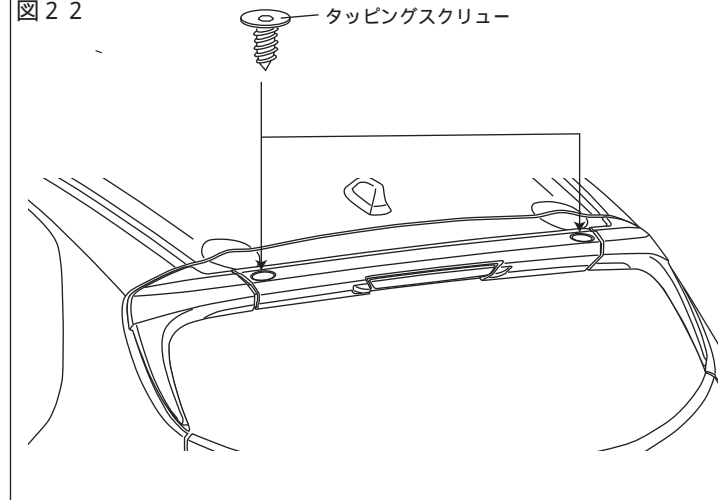
6. 図21のようにルーフスポイラーセンター をマスキングテープの高さに合わせた後、ズレ・隙が無いが確認し、両面テープの離型紙を番号順に剥がしながら貼付け圧着する。
{ 49 N (5 k g f) 以上 } (6 箇所)

△注意:両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めてください。

△注意:両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

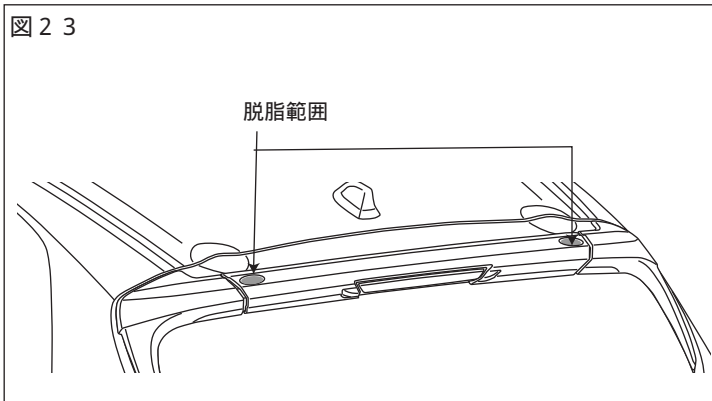
△警告:両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの発生する恐れがあります。

図 2 2



7. 図22のようにタッピングスクリュー を本締めをする。
 (左右各 1 箇所)

図 2 3

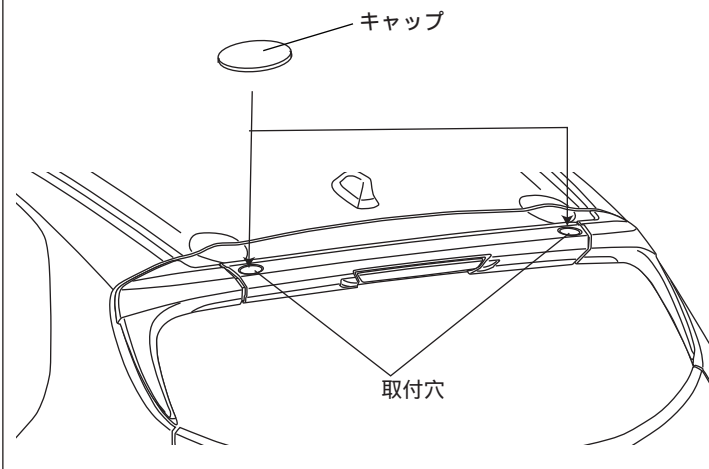


8. 図23のようにキャップ の両面テープ貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

△注意:脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

🧼 アドバイス:脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図 2 4



9. 図24のようにキャップの離型紙を剥がし取付穴に均等になるよう位置を合わせ貼付け圧着する。

{ 49 N (5 k g f) 以上 } (各 2 箇所)

△注意：キャップの両面テープは確実に圧着してください。圧着が不十分だと、水漏れの原因となる場合があります。

🔧 アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要です。
製品の取付け後は、最短3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、かからないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

⚠️ 警告：両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びブルーフスポイラー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 取り外したコネクタ類を確認する。
4. 本取付けに伴い分解、脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

TRD商品問い合わせ窓口

〒222-0002 横浜市港北区師岡町800番地

TEL:045-540-2121 FAX:045-540-2122

<http://www.trdparts.jp/>